

インフォシス、ガートナー社®の 2021 年「世界 Oracle クラウドアプリケーションサービスのマジック・クアドラント™」でリーダーに認定

インフォシスのビジョンの完全性と実行能力を評価

バンガロール (インド) – 2021 年 9 月 23 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は 23 日、ガートナー社の 2021 年「世界 Oracle クラウドアプリケーションサービスのマジック・クアドラント™」において 2 年連続でリーダーに選ばれたことを明らかにしました。

ガートナー社は次のように述べています。「Oracle は『クラウドファースト』の製品開発戦略を進めており、オンプレミスのアプリケーションソフトウェアの新規インストールの販売はもう積極的には行っていません。Oracle はオンプレミスの顧客の 60% から 70% が 2023 年末までに現行の Oracle アプリケーションの何割かを Oracle クラウドアプリケーションに移行すると見込んでいます。」

このレポートは、Oracle クラウドのベンダー 18 社のグローバルな能力をビジョンの完全性と実行能力の 2 つの基準に基づいて評価したものです。**ガートナー社は次のように述べています。**「リーダー企業は、現在良好な業績を上げており、市場でけん引力やマインドシェア（消費者の支持）を高めています。また、市場の方向性について明確なビジョンを持ち、市場リーダーの地位を維持するために積極的に能力を培っています。」

インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼エンタープライズ・アプリケーション部門グローバル部長の Dinesh Rao は次のように述べています。「今回のリーダー認定は、弊社の Oracle クラウドアプリケーションサービスの分野における強さと能力の証であると考えます。業界や専門領域向けソリューションの構築、グローバルなイノベーションハブやデリバリエンタ、人材プールへの戦略的投資が弊社の市場地位を押し上げるうえで非常に大きな役割を果たしました。弊社は自社が提供する [Cobalt](#) サービスを活用することで、様々な業界のお客様に Oracle クラウドアプリケーションを駆使したソリューションを提供し、成功を収めています。リーダーに認定されたことにより、企業を回復力の高い『生きている』企業へと変革する弊社の取り組みはさらにも加速するでしょう。」

Infosys Cobalt に含まれる [Infosys Oracle Cloud ソリューション](#) は、全体を考慮した体験の提供や、エコシステムにおける即応性の高いバリューチェーンの構築をサポートすることで、企業が「生きている」企業へと生まれ変わるのを支えます。Cobalt は、民主的なイノベーションと直感的な意思決定を可能にし、企業の敏捷性や持続可能性を高めます。

レポートの詳細は [こちら](#) をご覧ください。

Gartner, Magic Quadrant for Oracle Cloud Application Services, Worldwide, Katie Gove, Denis Torii, Akshit Malik, Gunjan Gupta, Alan Stanley, 24 May 2021.

ガートナーのリサーチの発行物は、そこに掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の格付けまたはその他の認定を受けたベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナーのリサーチおよび助言組織の見解から成るものであり、事実を宣言したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定の目的への適合性を含め、一切の保証の責任を負いません。GARTNER および Gartner Magic Quadrant は、Gartner Inc. または関連会社の米国およびその他の国の登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。無断複写・転載を禁じます。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取



引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: jo_ando@infosys.com